

境川の概要及び水質について（参考）

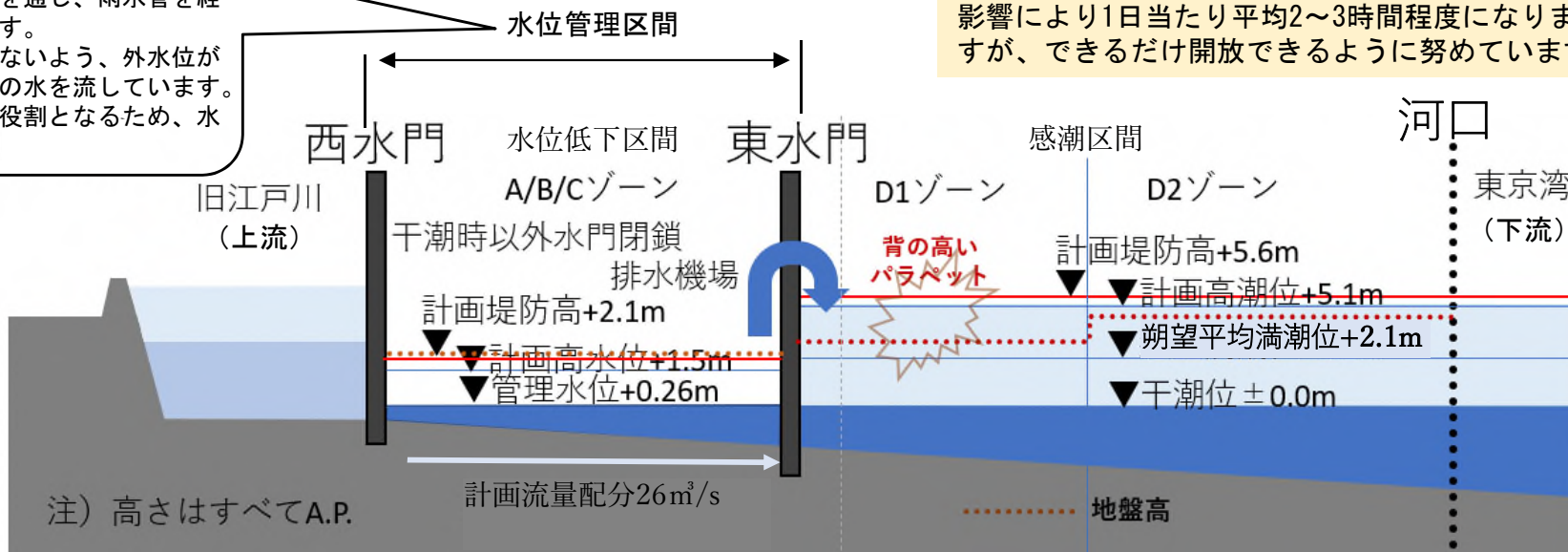
【雨水排水のメカニズム】

まちなかに降った雨水は、道路側溝を通じ、雨水管を経由して、最終的に河川に放流しています。
 まちなかに河川水が逆流して浸水しないよう、外水位がA.P.+0.6m以下で水門を開放して、川の水を流しています。
 なお、水門は閉じている時に護岸の役割となるため、水質浄化のための施設ではありません。

東西水門間では、水質が綺麗な場所に生育するといわれている千葉県重要保護植物「リュウノヒゲモ」が生息しています。



Aゾーンに生息するリュウノヒゲモ



境川概要図

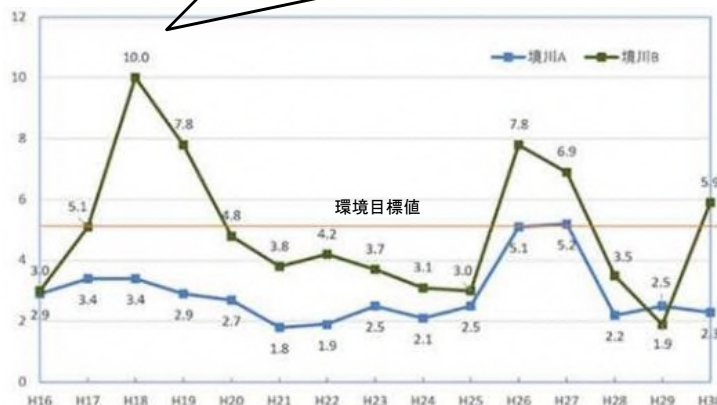
出典：利根川水系江戸川左岸圏域河川整備計画（平成18年12月）千葉県を参考に作成

水門の開放は、旧江戸川の水位、東京湾の潮位の影響により1日当たり平均2～3時間程度になりますが、できるだけ開放できるように努めています。



水質調査位置図

浦安市環境基本計画年次報告書によると、水質の基準となるBOD値は概ね環境目標値である5mg/L以下です。



BODの推移

浦安市の下水道事業は、汚水と雨水を別々の管路系統で排除する分流式下水道を採用しています。
 令和2年3月時点では、下水道（汚水）の人口普及率が99.7%、水洗化率が97.7%となっており、全国平均や千葉県平均を上回っており、ほぼ概成しています。

<河川等水質調査結果（平成30年度調査）> (単位：mg/L (pH以外))

河川	項目	5月	8月	11月	2月	年平均値
境川A地点	pH	8.3	7.6	7.8	7.9	7.9
	SS	11.2	7.8	2.7	1.3	5.8
	BOD	5.5	1.8	2.3	2.2	2.3 (75%水質値) 3.0 (年平均値)
	DO	7.9	6.3	6.3	9.3	7.5
	全窒素	1.7	2.4	3.0	3.0	2.5
境川B地点	全りん	0.26	0.29	0.15	0.10	0.20
	pH	8.5	7.9	7.4	7.3	7.8
	SS	19.1	15.8	1.7	4.3	10.2
	BOD	7.4	5.9	1.4	4.9	5.9 (75%水質値) 4.9 (年平均値)
	DO	10.6	14.6	9.0	9.0	10.8
	全窒素	1.7	2.5	3.5	4.8	3.1
	全りん	0.39	0.41	0.13	0.25	0.30

出典：浦安市公式サイト 主要河川水質測定結果（令和2年2月現在）

水質調査結果